

生活保護行政は**変**えられる！ ～小田原市などの取り組みから～

生活保護の分野では、あいつぐ基準の引き下げや法「改正」など厳しい動きが続いています。

そんな中、小田原市では、生活保護ケースワーカーが「保護なめんな」などと書かれた揃いのジャンパーを着て業務にあたっていたことが、問題になりました。しかし、同市は、元生活保護利用者を委員に迎えた検証委員会を設置するなど、保護行政の改善に向けた前例のない取り組みを続け、それが「保護のしおり」の改善運動など全国各地での取り組みにも発展しています。

地方から生活保護行政は改善できる！
そのために必要なことは何か？

小田原市で実務の改善に取り組んでおられる現役職員の方々もお迎えして、皆さんとともに考えたいと思います。

■日時

2018年7月14日(土)
13:30～17:00

■場所

CIVI研修センター秋葉原
D405号室

東京都千代田区神田須田町1-5-10 相鉄万世橋ビル

■資料代500円

■申込不要

地図



プログラム(予定)

☑ 基調報告「生活保護をめぐる状況と小田原市『ジャンパー事件』」

小久保 哲郎 (弁護士・生活保護問題対策全国会議事務局長)

☑ 特別報告 「福島市・奨学金収入認定事件のその後」

関根未希さん (奨学金収入認定事件弁護団・弁護士)

☑ パネルディスカッション「生活保護行政は変えられる！」

パネラー 塚田 崇 さん (小田原市 健康福祉部福祉政策課 総務係長)

加藤 和永 さん (同市 企画部企画政策課 企画政策係長)

和久井 みちる さん

(元生活保護利用者・小田原市生活保護行政のありかた検討会委員)

田川 英信 さん (元生活保護ケースワーカー・査察指導員)

コーディネーター 雨宮 処凜 さん (作家)

☑ 「行ってみよう！見てみよう！聞いてみよう！」各地の取り組み

● 愛媛の取り組み

鈴木静さん (いのちのとりで裁判愛媛アクション会長・愛媛大学教授)

● 東北の取り組み

太田伸二さん (東北生活保護利用支援ネットワーク事務局次長・弁護士) (ほか)

☑ まとめ

尾藤廣喜 (弁護士・生活保護問題対策全国会議代表幹事)

主催 生活保護問題対策全国会議

(連絡先) 〒530-0047 大阪市北区西天満3-14-16 西天満パークビル3号館7階
あかり法律事務所 弁護士 小久保 哲郎 Tel.06-6363-3310 FAX 06-6363-3320